

陽だまり通信

季刊誌

Vol.

76

2023年1月27日発行



音健アワード2022表彰式 学士会館（東京）

特集 1 新年のご挨拶

理事長 天野 純子

あまのクリニック 院長 福田 裕恭

アマノリハビリテーション病院 院長 小深田義勝

特集 2 音健アワード2022 最優秀賞受賞



<http://www.amano-reha.com/>



「令和5年新春を迎えて」

廿日市在宅総合ケアセンターあまのセンター長（あまのクリニック院長） 福田 裕恭



明けましておめでとうございます。
お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
少子高齢化が進む中、「住み慣れた地域で自分らしい生活を続けること」が重要だとされています。その実現のために地域に暮らす高齢者から小児までを包括的に支援できるよう、在宅医療としてクリニック、訪問看護ステーションの多職種のスタッフが連携して、ご自宅などへ訪問しチームとなって治療やケアを行っております。また、デイサービス事業では、長く健康に過ごせるよう専門職のスタッフが多方面からサポートし、生活の質が向上するよう取り組んでいます。当院では、住み慣れた地域で安心して過ごしていただけるように、包括的なサービスの提供ができる独自の地域包括ケアシステムの構築を目指しております。
疾病を抱えていても、住み慣れたご自宅などで生活・療養し、自分らしい生活を送りたいと願う高齢者やご家族は多くおられます。そのためには、地域における医療・介護・障害福祉事業が連携して、包括的なサービスの提供の実現に向けた体制が必要です。医療法人ハートフルでは「医療」「介護」「予防」「住まい」「障害福祉」「保育」が一体的に提供できる包括的なシステムを作り上げており、今後とも地域のニーズにお応えできるよう取り組んで参ります。

「新年の挨拶」

アマノリハビリテーション病院 院長 小深田 義勝



新年明けましておめでとうございます。
西暦 2023 年、令和5年、うさぎ年、が始まりました。今年の目標は、「いい病院になりましょう」。です。
幼少期、学校でも家でも、立派な人間になりましょうと教育を受けた記憶があります。ちなみに、母は、父について「父ちゃんはいいい人よ。」といつも言っていました。ことさら口になすことではありませんが、立派な人よりいい人、立派な医師より、いい先生になりたいと思っていました。前任地の広島総合病院泌尿器科でも、入院患者さんから、「先生、いい病院になったね」と言われたとき、飛び上がらんばかりに喜びました。看護師さんにもすぐに伝え、皆で喜んだ思い出があります。医学的知識をいっぱいもってはいけるけれど、やさしくない医療従事者よりも医学的知識はいっぱいもってはいないが、人のいい、やさしい医療従事者が大好きです。
やっぱり、立派な人より、いい人が好きです。（立派な人ももちろん大事ですが）「いい病院ですね」の誉め言葉がいただけるように、皆で努力していきたいと思います。
最後に、うさぎ年にちなんで
う：うきうきと、前向きで、いいリハビリテーションを行きましょう。
さ：幸多い年になりますように。（世界平和も祈りながら）
ぎ：ぎすぎすした世の中より、やさしさと感謝のあふれる世の中に。
本年もよろしくお願いいたします。

◆ 本年のキーワードは「皆の幸せ」



医療法人ハートフル

理事長 天野 純子

謹んで、新春のお慶びを申し上げます。
昨年は本当に大変な年でした。コロナ禍、戦争、災害、世界的金融不安…先が見通せない、暗くてつらい1年だったように思います。
しかし、その中であって、サッカーワールドカップでの日本代表の活躍は心躍るものでした。強豪ドイツ、スペインに打ち勝った！素晴らしいパフォーマンスは、人を幸せにするのだと、実感しました。このことから、本年は「皆の幸せ」をキーワードにしていきたいと思います。
先日、兵庫県立大学名誉教授の小山秀夫先生の話聞く機会がありました。大阪商人、伊勢商人と並んで日本3大商人のひとつ、近江商人の商売理念についての話でした。その中で、有名なのは「近江商人の三方よし」です。物を売ったり、買ったりするのですから、売り手・買い手が満足するのはもちろんです。しかし、それが社会にとってよいことか、社会に貢献できているかどうか重要である、としたのが、「売り手によし、買い手によし、世間によし」を示す「近江商人の三方よし」です。社会に悪影響を与えるものを、利益だけ見て売ること、商人としてあってはならないことだ、ということです。
今年、私の抱負は、「あまのの幸せ、三方よし！」を目指していくことです。医療やケアを提供する法人で働く人の幸せ。サービスを受ける患者さんの幸せ。法人があることによる社会の幸せ。この3つが叶えられるよう、頑張っていきたいと思います。
本年も、どうぞよろしくお願いいたします。



音健アワード2022 最優秀賞

望海の里 すずらん会
ハンドベルアンサンブル

2022年11月30日(水)「音楽と健康アワード2022」(一般社団法人日本音楽健康協会主催、毎日新聞社共催、厚生労働省後援)の表彰式が開催され、全171作品の応募の中より、介護付有料老人ホーム望海の里の「すずらん会ハンドベルアンサンブル」の取り組みが最優秀賞を受賞いたしました。



介護付有料老人ホーム望海の里 事務課 主任
橋本 智子
はしもと ともこ

「最優秀賞受賞おめでとうございます。率直な感想を教えてください。」

大変光栄な賞を賜り感謝しております。ご入居者様の生き生きとした表情や取り組みへ込めた思いが映像でお伝えできたことを嬉しく思います。貴重な経験をさせていただきました。

「音健アワードとはどんな活動ですか?」

これからの未来のために「うたと音楽」を用いる活動を応援するもので、今年で5回目の開催となりました。今年の募集テーマは「豊かな未来に向けた、楽しく笑顔あふれる音楽活動」でした。

「受賞作品について教えてください。」

ご入居者様と取り組んでいるハンドベルアンサンブルの様子を応募しました。今年の最終選考(入賞)10作品の特徴は、医療関係者から2団体、そのほか自治体からの応募があった点で、多くはご当地ソングを活用し、それにオリジナルの体操やダンスをつけているものでした。私たちの作品は、施設の高齢者が、それぞれハンドベルを持ち、歌いながらベルを奏で、ピアノとアンサンブルを行うものでした。

「ハンドベルアンサンブルのメンバーはどのような方ですか?」

望海の里のご入居者様6名と私の7名です。ほぼ固定のメンバーですが、入れ替わりもあります。施設長以下スタッフに承認を受け、この活動を継続しています。ほかのご入居者様やご家族様は自由に見学され応援して下さっています。



すずらん会の発足と成長

「50以上の活動がなされていますか?」

2021年11月に、ご入居者様と一緒に何かできないかとハンドベルを思いいつき、数名に声をかけたことが始まりです。「すずらん会」と名付け、ベルの振り方を学びながら始めました。

「楽譜を読むのが難しいですか?」

歌詞を記入し、音を出す箇所に色を付けた特製の文字譜を作っています。譜面を見て、しっかりと歌いながら音を出せる工夫として、色をハンドベル本体の色に可能な限り合わせることが重要だと学びました。微妙な色の違いはベルを選ぶとき、また演奏中に、脳内の混乱を招くことがわかりました。

「試行錯誤があつて受賞につながったんですね。」

ひとりひとりの個性、感性、身体的機能、経験など全て違いますが、尊敬を尊重し、個々が主体的に楽しく活動されることを常に考え行っています。個の尊重がチームの一員であることを意識づけ、助け合いは多くの場面で見られます。練習前の誘いあい、体調を思いやる声掛け、またベルを持つ本数、曲紹介など、当初のときよりは、今では挑戦する意欲と楽しみに変わっています。

唱歌を中心に30分練習

「どんな曲を演奏されていますか?」

唱歌が中心です。曲調やリズムが複雑でなく、曲が短く、馴染みが深いことがその理由です。

「練習はどのくらい行われていますか?」

1回30分、週2回。あいさつ、曲とベルの確認。ベルを使ったウォーミングアップ。次に曲調を思い出し歌います。いよいよ歌いながら演奏。曲紹介、曲開始のカウントをメンバーが行います。初回の指導は特に一人ずつ観察し、丁寧に行っています。最後にピアノ伴奏と合わせます。また、譜面に練習開始日と終了日を記入し、ファイルに綴じる作業もあります。完成するまでに何回かかかりますが、できたときはみんな喜び合い、豊かに演奏します。最後にお茶で喉を潤し、あいさつ、次回へと続きます。



特製の文字譜

参加する楽しみや幸せに

「歌を歌いながらハンドベルを奏でるといのは難しいと思いますが、大変だったことも色々あったのではないですか?」

個人のベルの役割が1音から2音になったときが一番大変でした。左右の音を間違えず出すのは非常に難しく、集中して文字譜を目で追い、手を動かすタイミングなどは個々が自分に合った方法で工夫されています。利き手でない側のベルを鳴らすのも大変苦労されていました。技術面の向上、チームワーク、お互いの協力など、さまざまな過程がこの時間に参加する楽しみや幸せにつながっています。自信がつき、次への挑戦意欲や共通の話題が毎日の生活を豊かにしています。

音楽療法の展開

「今後の活動予定を教えてください。」

ハンドベルアンサンブルの取組みはマルチプルタスク*1、パーソンセンタードケア*2といったリハビリテーションで大切な要素を含んでいます。これまで私は参加入居者の中に、認知面や身体面にホジティブな効果が表れるのを見られました。今後、この取り組みが音楽療法として医療法人ハートフルでリハビリテーションの一部と正式に認知されることを目指します。さらに、この活動に関心をもち研究をする協力者が見つかることを望んでいます。

また2022年6月からは、あまのクリニックの重度認知症患者デイ・ケアで週2回、音楽の時間に携わっています。今後、他の事業所にも音楽療法が展開され、発展することを目指したいと考えます。

最後になりましたが、この活動を支え応援して下さいました医療法人ハートフル、望海の里、ご入居者様、ご家族様、動画の撮影・編集でご協力いただいた外川雅士さん、知人、私の家族にあらためてお礼を申し上げます。

*1 複数の作業を同時に処理すること
*2 その人を中心としたケア

重度認知症患者デイ・ケアが 日本認知症ケア学会 機関認定制度の認定を受けました



迫野主任

あまのクリニック重度認知症患者デイ・ケアでは、精神科医、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、介護福祉士等の各専門職が、認知症の進行予防、徘徊・昼夜逆転・不穏・ひどい物忘れなどの周辺症状の緩和、生活能力の維持・改善、ご家族の介護負担軽減などを目的に健康管理、集団活動、日常生活支援などを行っています。

この取り組みが、2022年10月1日、一般社団法人日本認知症ケア学会の機関認定制度の認定を受けました。広島県内で2施設目です。

本制度は、わが国における認知症ケア技術の向上ならびに保健・医療・福祉に貢献することを目的に、認知症ケアに対する優れた学識と高度の技能を有する認知症ケア専門士を積極的に活用する機関を認定機関として認定されるものです。

主な認定要件と当施設での取り組みをご紹介します。



認知症ケア専門士または認知症ケア上級専門士が2名以上在籍していること

認知症ケア専門士が4名在籍しています。当事業内の資格取得者には看護師・介護福祉士・作業療法士・精神保健福祉士がいます。現在も、資格取得に向けて勉学に励んでおり、一次試験等に合格しているものも数名あります。

認知症の人の権利擁護・支援・啓発活動を行っていること

ご利用者さんやそのご家族がよりよい毎日を暮らしていけるように努め、十分な対話を行ったうえで信頼関係を築き、意思決定等のサポートをしています。

また認知症の方の権利擁護については、自治体や地域包括支援センターと連携し成年後見人制度や日常生活自立支援事業の利用など支援・相談を行っています。

認知症に関する地域・社会貢献活動を毎年継続的に行っていること

認知症に関する知識の普及または相談支援活動

- ①相談窓口を設置し認知症の方をケアするご家族の相談窓口を明確化しています。認知症の方が適切なケアを受けるためには、そのご家族や介護者のケアが重要と考えています。
- ②家族ケアでは認知症の人とご家族を支援するために地域の社会資源を支援しています。
- ③地域の社会資源開発では介護施設と認知症の知識・技術の普及・指導を行っています。認知症の人を理解するためのコミュニケーション技法やBPSD（行動・心理症状）へのケア対応などについて情報交換をしています。

認知症の人の地域生活支援またはこれに類する活動

- ①近隣の医療系の学部をもつ大学の学生に対して、実習生の受け入れを積極的に行い、実践的な認知症介護について指導しています。
- ②医師、看護師に加え、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員と多職種が連携して地域医療、在宅医療を推進しています。具体的にはご利用者さんとそのご家族、外部の介護支援専門員からの問い合わせや相談をソーシャルワーカーが受けています。所属の精神保健福祉士が健康・療養相談と心理社会相談に関する内容に加え、病気やそれに付随するさまざまな相談についても相談にのり、一緒に解決策を考えるようにしています。

認知症の方と家族に対する具体的な支援

医療の面では、訪問診療や訪問看護と連携を行い、通所リハビリ、訪問リハビリ等の他部署との情報交換を常に行い、認知症患者の医療的支援を行える環境を整備しています。

福祉の面では、音楽健康指導士を中心とした多職種チームが、物忘れが気になる人を対

象に治療の一環として音楽、回想法、脳トレ、運動、健康教育等楽しく実施できるようにサポートしています。

また相談窓口を設置することで、社会資源や自立支援に係る制度の説明ができる場を提供しています。

迫野主任



ハンドベルアンサンブルのメンバーである望海の里のご入居者様にもお話を伺いました。

受賞者インタビュー

一みさん 受賞おめでとうございます。全員の喜びが伝わります。

Yさん 思いがけずな栄冠でした。娘から「おはあちゃんすごいら」って褒められました。

Nさん びっくりしました。

—ハンドベルを演奏しそくに演奏されていましたね。演奏は難しくありませんか？—

Tさん 間違えちゃったときもあるけど、楽しいですよ。

Sさん とっても楽しいです。昔に歌った歌だからやりやすいですね。

Mさん 音楽が好きなので楽しんでですね。

Yさん ハンドベルの時間は本当に楽しいです。練習の30分はあっとい間なのでちょっとやりたいって思います。それから、17時まで体力を温存するようにしています。それまで休んでいたり、お風呂にせずにシャワーにしてもらったりしています。それだけハンドベルの時間を楽しみにしています。

それと、(音楽健康指導士の橋本)先生のリーダーシップがすごいし、ピアノの音色に魅せられてつい声が大きくなっちゃってます。それに合わせてハンドベルを鳴らすことも感動するんです。あとね、ローレライが演奏できて本当に良かった。

—皆さんにハンドベルの時間は楽しかったですか？—

Tさん 時間のけじめになりますね。今日はハンドベルがあるから今のうちにやっておこうか。

Yさん 以前は週に5回だったのが、2回に減ってしまっ、そのときはがっかりしたんです。でも2回でもハンドベルをやりたいですね。練習は30分なんですけど、あっとい間です。

—映像を見て皆さんの「楽しい」が伝わってきました。本日はありがとうございます。



審査委員長
湯川れい子氏の講評 (一部抜粋)

湯川れい子
音楽評論家・作詞家
日本音楽療法学会理事
作詞家としての大ヒット作には、『六本木心中』『恋に落ちて -Fall in Love-』など。

小さい子どもにとってハンドベルというのはそう難しいことではありません。しかし90歳を超えた方たちが、それぞれあの色分けされた譜面を見ながら、その場で音を出す、というのはめちゃくちゃ難しいと思います。しかもそのリズムを取りながら、なおかつ一緒に歌わされているという。これは考える以上に難しい作業だったと思います。そしてそれをここまで根気よく諦めないで、一生懸命指導してくださったことにまず本当に感謝と感動の意を表したいと思います。

そしてそれが何に役立つかというと、あれだけの高齢の方が一緒に歌いながらしかもリズムを外さないであれだけのことがやれたということは、まず認知が進まないことですが、少なくとも抑えることができた、元には戻らないかもしれないけどでも抑えることができた。そしてしかもその参加する方たちが非常に行動的に自分から自主参加してきた。これはどこまでいっても皆様方の辛抱強さと愛のある指導によって成し得たことだと思えます。おそろく体感的にも脳の作業の上からも頭の認知の改良の上からも生きる楽しみから身体をそれによって動かすということの運動機能からも、簡単に考えられる以上に私は優れた活動であったというふうに心から思いまして、最優秀賞に選ばせて頂きました。

本当にありがとうございます。

受賞作品を Youtubeにて公開中

平均年齢93.5歳のメンバーが、老人ホームで生き生きと活動している様子を是非ご覧ください。



アマノリハビリテーション病院

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時～12時	1診	中島 康 内科・循環器科	菊地 由花 内科・リハビリテーション科	山根 浩介 内科・放射線科	—	渡辺 健一郎 内科・呼吸器科	—
	2診	小深田 義勝 泌尿器科	河村 理英子 小児科	小深田 義勝 泌尿器科	—	西河 求 内科・総合診療科	川上 恭司 循環器科
	3診	—	—	—	—	—	—
午後 14時～17時	1診	—	—	—	非常勤医師 内科	石井 良昌 リハビリテーション科	—
	2診	—	—	—	河村 理英子 小児科(第2・4のみ)	西河 求 内科・総合診療科	—

あまのクリニック

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時～13時	1診	—	—	—	串畑 重行 内科	—	—
	2診	榎津 優 心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	—	福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科
	小児	福田 純男 小児科	—	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科
午後 14時～17時	1診	—	—	—	—	—	—
	2診	福田 裕恭 内科・心療内科	—	—	福田 裕恭 内科・心療内科	—	福田 裕恭 内科・心療内科
	小児	福田 純男 小児科	—	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科

※急患はこの限りではありません。お気軽にお問い合わせのうえ、受診してください。 ※都合により、外来担当医が変更になる場合もございます。ご了承ください。

医療法人 ハートフル <http://www.amano-reha.com>

アマノリハビリテーション病院

■通所リハビリテーション ■訪問リハビリテーション

廿日市市陽光台5-9
TEL.0829-37-0800

診療科目 内科・リハビリテーション科・泌尿器科・脊椎外科・循環器科・神経科
放射線課・小児科・心療内科・精神科

診療時間 午前9時～12時 休診日 日曜・祝日

廿日市在宅総合ケアセンターあまの

廿日市市串戸5-1-37

在宅医療支援室 TEL.0829-31-5122
地域連携室 TEL.0829-31-5226

廿日市在宅総合ケアセンターあまのは、医療法人ハートフルの在宅医療、高齢福祉、障がい福祉サービス・施設の総称です

あまのクリニック ■通所リハビリテーション ■重度認知症患者ケア

■訪問リハビリテーション

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5151代

診療科目 心療内科・内科・循環器科・リハビリテーション科・小児科
診療時間 午前9時～13時(受付は12時まで) 午後2時～5時
休診日 水曜(午後)・金曜(午後)・日曜・祝日

アマノ居宅介護支援事業所

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5213
電話対応可能時間 月曜～土曜 午前8時30分～午後5時30分

訪問看護ステーション ハートフルステーション あまの

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5212
電話対応可能時間 月曜～土曜 午前8時30分～午後5時30分

介護付有料老人ホーム 望海の里

廿日市市宮島口東2-13-15 TEL.0829-56-4580

介護付有料老人ホーム カーサ ミーア

廿日市市陽光台3-1-3 TEL.0829-37-1133

児童発達支援センター おひさま

廿日市市陽光台3-1-3 TEL.0829-37-1166

あまのコミュニティーケアプラザ LaLa

あまの保育園

廿日市市串戸5-3-45 あまのコミュニティーケアプラザ内1F
TEL.0829-32-8800
電話対応可能時間 月曜～土曜
午前7時50分～午後6時30分

生活介護事業所 ハートフルあまの

廿日市市串戸5-3-45 あまのコミュニティーケアプラザ内2F
TEL.0829-31-5581
電話対応可能時間 土曜・日曜を除く
午前8時30分～午後5時30分

放課後等デイサービス オレンジ・スマイリー

廿日市市串戸5-3-45 あまのコミュニティーケアプラザ内2F
TEL.0829-31-5582
電話対応可能時間 日曜・祝日を除く
午前8時30分～午後5時30分

広島西障がい者就業・生活支援センター もみじ

廿日市市串戸5-3-45 あまのコミュニティーケアプラザ内2F
TEL.0829-34-4717
電話対応可能時間 土曜・日曜・祝日を除く
午前8時30分～午後5時30分

相談支援事業所 あおぞら

廿日市市串戸5-3-45 あまのコミュニティーケアプラザ内2F
TEL.0829-34-4710
電話対応可能時間 日曜・祝日を除く
午前8時30分～午後5時30分

デイサービスセンター ゆうゆうあまの

廿日市市串戸5-3-45 あまのコミュニティーケアプラザ内3F
TEL.0829-31-5588
電話対応可能時間 日曜を除く
午前8時30分～午後5時30分

あまの訪問看護ステーション

岩国市牛野谷町3-49-53
TEL.0827-32-6265

● 電話対応可能時間 月曜～土曜、祝日
● 午前9時～午後6時 ※緊急時は24時間対応